

TOKYO PHILHARMONIC CHORUS

しらかわホール定期演奏会No.10

平成19年度文化庁芸術創造活動重点支援事業

指揮 大谷 研二／新実 徳英
Conductor: OTANI Kenji / NIIMI Tokuhide

三絃 野澤徹也 コントラバス 溝入敬三
Sangen : NOZAWA Tetsuya Contrabass : MIZOIRI Keizo

“第38回サントリー音楽賞” “第25回中島健蔵音楽賞” W受賞!

東京混声合唱団



2007年7月7日[土]
18:00開演(17:30開場)

しらかわホール

主催
(財)合唱音楽振興会
Association for Promoting Choral Music

協賛
しらかわホール

後援
愛知県合唱連盟

入場料(税込み・全自由席)
一般券: 3,000円 学生券: 2,000円

- 【前売り・問い合わせ】
●ルンゲ TEL 052-203-4188
●しらかわホールチケットセンター
TEL 052-222-7117
●チケットぴあ TEL 0570-02-9999
●愛知芸術文化センター ブレイガイド
●ヤマハミュージック東海 名古屋店

新実徳英作品個展 ~合唱の新たな領域を拓く
—自作指揮、トークを交えて—

無伴奏混声合唱曲

骨のうたう(2002)

竹内浩三: 作詞

無伴奏混声合唱曲のための

北極星の子守歌

「白いうた 青いうた」より(1996)

- I. 海 II. われもこう III. 無名 IV. 自転車でにげる
V. わらべが丘 VI. なまずのふろや
VII. 北のみなしご VIII. 北極星の子守歌
谷川雁: 作詞



女声合唱、三絃、コントラバスのために
をとこ・をんな(1988)

吉原幸子: 作詞

合唱協奏曲
—ビオス bios— (2007年委嘱作品)

大谷研二 OTANI Kenji (指挥)

神奈川県生まれ。

80年に武蔵野音楽大学を卒業後、東京混声合唱団に入団。83年ヨーロッパに留学。主にスウェーデン、ドイツ、イギリスでE.エリクソン、H.リーリング、W.シェーファラに師事。フランクフルト音楽大学合唱指揮科を卒業、ディプロマを取得をし、89年帰国。同年の武満徹監修「Music Today」、90年サントリー音楽財団「20世紀の音楽」などの公演で合唱、室内樂を指揮し注目を浴びる。90年度村松賞受賞。

90年、東京混声合唱団コンダクター・イン・レジデンスに迎えられ、91年東京混声合唱団第127回定期演奏会に初登場。92年に創立されたばかりの岩城宏之率いるオーケストラ・アンサンブル金沢付属の合唱団指揮者を2001年まで務めた。その後、いづみホール「音楽の未来への旅シリーズ」、サントリー音楽財団「サマーフェスティバル」などの主要な音楽祭でたびたび合唱、室内樂を指揮。2001年には韓国国立合唱団定期公演に客演し日本の現代作品を含んだプログラムを指揮。また、オーケストラ付きの合唱作品もしばしば指揮し、98年のライツヴィヒでの古楽オーケストラとの共演は地元新聞紙上で絶賛された。99年には、バッハのロ短調ミサ、マタイ・ヨハネ両受難曲を指揮し、バッハ没後250年の2000年にはクリスマス・オラトリオ全曲演奏に取り組んだ。

またオーケストラの合唱指揮者としては坂本龍一オペラ「LIFE」、三善晃オペラ支倉常長「遠い帆」、ジョン・アダムズ「エル・ニーニョ」、ストラヴィン斯基「結婚」「詩編交響曲」など大編成合唱団のコーラスマスターとしての顕著な実績も評価されている。

特に中世から現代に至る色彩豊かな作品の紹介と流麗な指揮によって高い評価を受けている日本を代表する合唱指揮者の一人である。

現在、NHK東京児童合唱団指揮者・音楽アドバイザー、東京混声合唱団指揮者、活水女子大学音楽学部学術研究所教授。



東京混声合唱団 TOKYO PHILHARMONIC CHORUS

1956年、東京芸術大学声楽科の卒業生により創設された日本唯一のプロ合唱団。コンサートの開催を演奏活動の中心に置き、広範な分野の合唱作品の開拓と普及に取り組んでいる。

年6回の東京での定期演奏会、大阪、名古屋、岐阜での定期演奏会、各地方での特別演奏会、内外のオーケストラやオペラとの出演、文化庁主催「本物の舞台芸術体験事業(公立文化施設公演・学校公演)」をはじめとする青少年を対象とした鑑賞音楽教室、海外公演を含む年間200回の公演のほか、レコード・ビデオ・ラジオへの出演がある。

レパートリーは、創立以来行っている作曲委嘱活動で生まれた184曲を数える作品群をはじめ、グレゴリオ聖歌からルネサンス、古典派、ロマン派、シェーンベルク、クセナキス、リゲティの現代作品、そしてわが国の作曲界からは故武満徹、故柴田南雄、間宮芳生、湯浅謙二、林光、三善晃、新実徳英、野平一郎、西村朗などの重鎮から若手作曲家までと全合唱分野を網羅している。

文化庁芸術祭大賞、音楽之友社賞、毎日芸術賞、京都音楽賞、創立20周年企画「合唱音楽の領域」によるレコード・アカデミー賞などを受賞している。

海外では1979年のアセアン5ヶ国公演を皮切りに、1987年、創立30周年記念としてニューヨークほか7都市でのアメリカ公演を行った。(いずれも文化庁派遣の文化使節)。1997年、世界合唱連合(ユネスコ国際音楽協議会合唱部門)の招きで渡欧し、スウェーデン、ベルギーで6公演を、2000年夏にはエストニア、フィンランド(国際音楽祭)で4公演を、2002年6月にはカナダの国際合唱祭で4公演を、2006年7月には創立50周年記念としてラトヴィア、エストニアで6公演を行い、いずれも絶賛を博した。

各地のアマチュア合唱団や児童生徒との合同演奏、指導者派遣、ワークショップ・解説付きコンサートも精力的に開催し、合唱音楽の向上、浸透、地域文化振興に大きな寄与をもたらしている。

田中信昭(音楽監督・桂冠指揮者)、ウォルフディーター・マウラー(首席客演指揮者)、松原千恵子(常任指揮者)、大谷研二(指揮者)、コンダクター・イン・レジデンスに宮松重紀、森口真司、山田和樹など、多彩な指揮者陣を擁している。

1996年より日本を代表する芸術団体として「文化庁特別重点支援」の指名を受けていた。

2007年、第38回サントリー音楽賞、第25回中島健蔵音楽賞を受賞。

<http://homepage3.nifty.com/TOUKON/>

東京混声合唱団

しらかわホール 定期演奏会No.10

2007年7月7日 [土] しらかわホール(名古屋)

新実 德英 NIIMI Tokuhide

(作曲・指揮)

名古屋市生まれ。東京大学工学部卒業ご音楽の道へ進み、東京芸術大学作曲科卒業。大学院修了。

77年ジュネーブ国際バレエ音楽作曲コンクールにて史上二人目のグランプリ並びにジュネーブ市賞を受賞。82年文化庁舞台芸術創作奨励賞並びに特別賞を受賞。83年ジュネーブ国際バレエ音楽作曲コンクールの審査委員を務める。84年度文化庁芸術祭優秀賞受賞。IMCに入選。2000年第18回中島健蔵音楽賞受賞。03年別宮賞受賞。04年「風神・雷神」のCDが文化庁芸術祭大賞を受賞。05年万博記念オペラ「白鳥」が名古屋において世界初演、佐川吉男音楽賞受賞。06年の「協奏の交響曲—エラン・ヴィタールー」により第55回尾高賞を受賞。

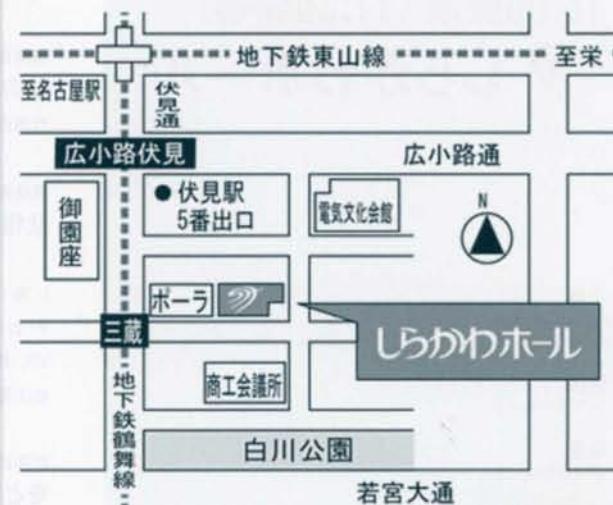
管弦楽作品の多くは、国内ではNHK交響楽団を始め主要なオーケストラ、海外でもスイス・ロマンド、オランダ放送、BBCスコティッシュ、フランス国立放送、ベルリン、ニューヨーク、ベルギー等のオーケストラにより演奏され、それぞれ高い評価を得ている。

現在、桐朋学園大学院大学教授、東京音楽大学客員教授、桐朋学園大学、同短期大学非常勤講師。日本作曲家協議会理事。



しらかわホール

[アクセスマップ]



若宮大通